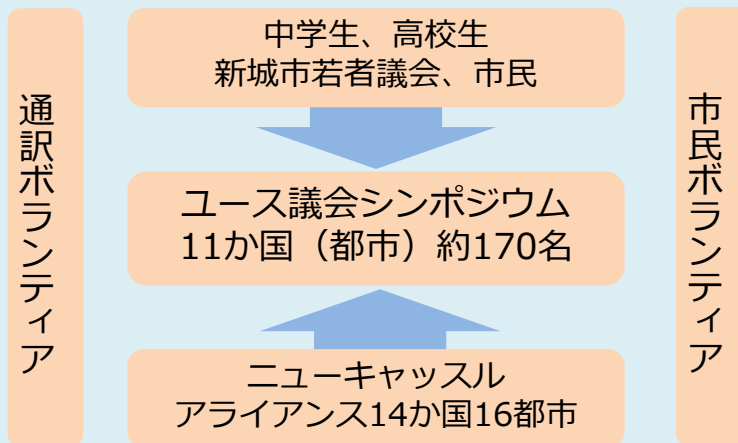


事業の概要



- 世界の「新城＝ニューキャッスル」の名のつく11都市の若者約170名が集まり、テーマ「グローバル化の現代において何が若者にとって魅力的なまちなのか」について英語で議論し、6つの政策を提言した。



事業の特徴

- 世界共通のまちづくりの課題を見つけ議論することで、主権者としての意識を多面的に育成できる機会となった。
- 英語による運営、議論に不安もあったが、通訳ボランティアなどのサポートがあった。
- 事業費：1,000千円（うち委託費474千円）

事業の効果、今後の展開など

- 中学生、高校生、新城市若者議会が参加し、英語による議論への挑戦と、まちづくりの楽しさを体験。
- 提言され1位になった政策は、webフォーラム上で議論し、実現に向け進んでいる。